



訪問日:8月27日

水稲収穫後の 土づくりについて



今回は、尾張旭市で水稲栽培を行っている松原三郎さんの田んぼを訪問しました。

今年も梅雨時期の少雨や夏の厳しい高温が続き、稲にとって過酷なシーズンとなりましたが、松原さんの田んぼは倒伏などは発生せず、順調に収穫期を迎えていました。

田植え準備の土づくり資材としておすすめしている「**農力アッププラス**」を数年前から継続して使用しており、「**毎年続けて使っていることで、稲がしっかりと倒伏しにくくなった**」と効果を実感していました。

近年の猛暑では、稲が生き残ろうとして土壌中の「**けい酸**」や「**鉄分**」を通常以上に多く吸収してしまうため、収穫後にこれらの養分をしっかりと補給し、土の状態を整えることが重要になります。

水管理の際、田面から泡が出る、稲が倒れやすいといった圃場は、これらが枯渇しているサインです。刈取り後から次作の代かき前までに「**農力アッププラス**」を散布し、疲れた土に栄養を補給しましょう。

けい酸/葉や茎を頑丈にして倒伏を防ぎ、受光体制を良くして光合成を促進。籾(もみ)に養分をしっかりと届けて米の実りや粒張りを良くするほか、いもち病や紋枯病への抵抗力も高めます。

鉄分/根を傷める有害ガス(硫化水素)の発生を抑え、根腐れを防ぎます。根が健全に保たれることで、秋口の生育衰退(秋落ち)やごま葉枯病を予防します。



「農力アッププラス」を活用するメリット

- ①丈夫な稲づくり：けい酸の効果で茎葉が強固になり、倒伏や高温障害を軽減!
- ②老朽化水田の改善：鉄分の効果で根腐れの原因となるガスを抑え、土壌環境を改善!
- ③食味・品質の向上：登熟が高まり、一等米比率や品質の向上に期待!

水稲でも土壌診断をおすすめします!

田んぼの土壌診断を行い、土の状態を確認しましょう。収穫後、次作の土壌改良剤や肥料を使用する前に土を採取する必要があります。

お申し込みや具体的な方法については、各営農センターにお気軽にご相談ください。皆さまの「元気な土づくり」を全力でサポートします!